

平成22年4月22日

## **SAAJ** NEWS RELEASE

### グローバル投資パフォーマンス基準(GIPS)2010年改訂版の 日本語版を公表しました

日本証券アナリスト協会では、資産運用会社による見込・既存顧客に対する投資パフォーマンス実績の公正な表示と完全な開示（fair representation and full disclosure）を確保するための自主的な基準として、従来から「グローバル投資パフォーマンス基準（GIPS）」（日本語版）を採用しています。

GIPS基準が5年ぶりにGIPS Executive Committee (GIPS EC) によって改訂されたことに伴い（採択日：2010年1月29日、発効日：2011年1月1日）、当協会でその日本語訳を行い、このほど、日本語版が、当協会理事会の承認（4月1日）およびGIPS ECによる Translation of GIPS (TG) としての認証を経て、公表されました。GIPS基準日本語版および関連情報は、当協会ホームページ（[saa.or.jp/investment/index.html](http://saa.or.jp/investment/index.html)）をご覧ください。

#### 《ご参考》

- GIPS基準2010年改訂の主要ポイント：
  - 投資対象資産の評価において時価を入手できない場合には、公正価値による評価が新たに求められること。
  - リスク指標としてコンポジットおよびベンチマークの月次リターンについて3年間の年率換算した事後的な標準偏差の提示が新たに求められること。
  - 資産運用会社のGIPS基準への準拠表明において、独立した検証者による検証を受けているかどうかを開示することが新たに求められること。
- GIPS基準は、世界32カ国のGIPSカントリー・スポンサーの参加を得て、CFA協会傘下のGIPS Executive Committee (GIPS EC) により策定、運営されています。日本では、日本証券アナリスト協会がGIPSカントリー・スポンサーになっています。当協会は、GIPS EC傘下のGIPS Council (GIPSカントリー・スポンサーで構成) およびアジア太平洋地域小委員会のメンバーとなっており、また、当協会の投資パフォーマンス基準委員会の委員数名が、GIPS ECの各種専門小委員会やワーキング・グループに参加しています。こうした活動を通じて、基準改訂や解釈文書等の策定に積極的に貢献しています。

本件に関するお問い合わせは下記まで

(社) 日本証券アナリスト協会

電話：03-3666-1515

担当：国際第二部 刈田一道・森 直子